

令和 8 年度 全国学力・学習状況調査結果の公表の件

(1) 令和 8 年度全国学力・学習状況調査の結果の公表に係る照会文案

道教委では、今年度の全国学力・学習状況調査の結果公表について、令和 7 年度と同様、北海道版結果報告書に同意を得られた市町村の結果を掲載する。

ただし、市町村が独自に結果公表を行う Web ページの二次元コードを掲載する考えであること。

掲載に際して、市町村教育委員会の同意・不同意を照会する。

市町村の結果は、市町村が独自に結果公表を行う Web ページの二次元コードを掲載すること。

(2) 全国学力・学習状況調査の結果公表に関する道教委の考え方

道教委の説明責任

- ・全国学力・学習状況調査の結果については、市町村教育委員会、学校のみならず、道教委としても説明責任がある。
- ・道教委としては、できるだけきめ細かく分かりやすい調査結果を示す観点から、平成 26 年度から同意が得られた市町村教育委員会の調査結果及び分析結果・改善方を報告書に掲載し、公表してきた。
- ・令和 8 年度も同様の考えのもと、市町村別の結果を掲載する考えである。

市町村教育委員会の説明責任

- ・小・中学校の教育に関しては、市町村教育委員会が設置管理者としての責任と権限を有している。
- ・道教委では、市町村教育委員会の公表については、学校・家庭・地域・行政が学力の課題を共有し、教育施策の改善や児童生徒の学習状況の改善に資するよう分かりやすい公表を行うよう働きかける。

道教委による公表の具体

- ・市町村が公表する内容については、これまでの市町村頁と同様に、教科に関する調査及び質問調査における「具体的な数値による調査結果」「調査結果の分析」「今後の改善方策」の 3 点の掲載をお願いしたいと考えている。
- ・ただし、市町村の状況に応じた公表となることから、公表の方法や資料の様式等についての指定等はない。
- ・平均正答率や IRT スコアの数値については、「教育上の配慮が必要と考えられる市町村以外は、数値も公表することが望ましい。」と考えている。
- ・道教委による学校名を明らかにした公表については、市町村教委や学校が判断することが望ましいと考えている。

(3) スケジュール

- ・令和 8 年 8 月 17 日(月) 教育委員会議において、議案審議
- ・令和 8 年 8 月 31 日(月) 市町村別結果の掲載についての回答期限
- ・令和 8 年 11 月を目途に、報告書に掲載

各市町村教育委員会教育長 様

北海道教育委員会教育長 中 島 俊 明

令和 8 年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」における市町村別結果の公表について（照会）

このことについて、文部科学省「令和 8 年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領」（別添 1、以下「実施要領」という。）では、教育委員会や学校が保護者や地域住民に対して説明責任を果たすことが重要であるとともに、都道府県教育委員会は、域内の市町村教育委員会の同意を得た場合には、当該市町村名又は当該市町村教育委員会が設置管理する学校名を明らかにした公表を行うことができるとされています。

道教委では、この実施要領に基づき一層きめ細かく分かりやすい調査結果を示す観点から、市町村教育委員会の同意を前提として、11月を目途に公表を予定している令和 8 年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」（以下「北海道版結果報告書」という。）に、市町村が独自に結果公表を行うWebページの二次元コードを掲載する考えです。

つきましては、貴市町村の結果公表が行われるWebページの二次元コードを北海道版結果報告書に掲載することについて照会しますので、下記により回答願います。

なお、道教委としては、学校名を明らかにした公表は市町村教育委員会が判断することが望ましいと考えており、学校名の公表について照会する考えはありません。

また、令和 8 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載についても、同様の考え方にに基づき進めることとしており、別途照会することを申し添えます。

記

1 回答書式

別紙 令和 8 年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」における市町村別結果の公表について（回答）

2 提出先

所管する教育局教育支援課

3 市町村教育委員会から教育局への提出期限

令和 8 年（2026年） 8 月31日（月）

4 資料

別添 1 令和 8 年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領

別添 2 令和 8 年度全国学力・学習状況調査の結果公表に関する道教委の考え方

別添 3 市町村における独自の結果公表の際に参考となるフォーマット例

5 北海道版結果報告書への掲載内容

市町村が独自に結果公表を行うWebページの二次元コード

6 その他

別添 3 のフォーマット例を活用した結果公表資料の作成等の詳細については、別途連絡します。

学校教育局学力向上推進課
学力向上支援係
電話：011-206-6849

令和 8 年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」

における市町村別結果の公表について（回答）

令和 8 年（2026年）7 月 2 8 日付け教学向第 3 6 7 号で照会のありました令和 8 年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」に当市町村が独自に結果公表を行う Web ページの二次元コードを掲載することについて、次のとおり回答します。

☐ 同意する ☐ 同意しない
(いずれかにレ印を入力してください。)

北海道教育委員会教育長 様

美唄市教育委員会教育長 石 塚 信 彦

（御回答ください。）

1 上記の回答に当たり、どのように決定しましたか。

（ ☐ にレ印を入力してください。 ）

☒ 教育委員会に諮り決定した。

☐ 教育長が決定した。

☐ その他（ ）

2 決定に当たり、意見を聞いた機関や団体等がありますか。

（ ）

3 「同意しない」を選んだ市町村教育委員会は、差し支えなければ、その理由を下欄に記入願います。

4 今後の「北海道版結果報告書」の内容について、御意見等がありましたら、下欄に記入願います。

ありがとうございました。

令和8年度全国学力・学習状況調査の結果公表に関する道教委の考え方

◆ 道教委の説明責任

道教委では、本道教育の推進に当たり、その責任と権限の下に、教職員の任用や人事、給与負担を行うとともに、本道教育が直面する課題を解決するため、広域的な行政施策を実施してきており、その成果等について道民に分かりやすく説明する責任があります。

こうしたことから、全国学力・学習状況調査については、できるだけきめ細かく分かりやすい調査結果を示す観点から、実施要領上、最大限可能な範囲として管内別の結果を公表するなど、報告書の内容について不断の工夫・改善を行っているところです。

平成26年度の実施要領から、①都道府県、市町村の区別なく、教育委員会や学校が、保護者や地域住民に対して説明責任を果たすことが重要であると明記されるとともに、②都道府県教育委員会は、域内の市町村教育委員会の同意を得た場合には、当該市町村名又は当該市町村教育委員会が設置管理する学校名を明らかにした公表を行うことができるとされました。

この実施要領に基づき、道教委では、市町村教育委員会の同意を前提として、一層きめ細かく分かりやすい調査結果を示す観点から、市町村別の結果を公表することとし、平成26年度の報告書から、同意が得られた市町村教育委員会の調査結果及び分析結果・改善方策を、報告書に掲載し公表しており、令和7年度の報告書からは、市町村の成果や課題に応じたより充実した公表内容とするため、市町村が独自に結果公表を行うWebページの二次元コードを掲載しています。

道教委では、令和8年度も同様の考え方のもと、市町村別の結果を掲載したいと考えております。

◆ 市町村教育委員会の説明責任

一方、小・中学校の教育に関しては、市町村教育委員会が設置管理者としての責任と権限を有しており、自らの施策の現状と成果の一つとして全国学力・学習状況調査の結果を様々な角度から一定の数値により分かりやすく公表するとともに、施策の改善につなげていくことが大切です。

なお、道教委では、市町村教育委員会の公表については、学校・家庭・地域・行政が各地域の学力の課題を共有し、教育施策の改善や児童生徒の学習状況の改善に一丸となって取り組むことができるよう、これまでも、分かりやすい公表を行うよう働きかけてきたところであり、実施要領を踏まえた公表内容の改善・充実について引き続き働きかけていく考えです。

令和8年度全国学力・学習状況調査の結果公表に関する道教委の考え方

◆ 道教委による公表の具体

1 道教委による市町村名を明らかにした公表について

- 市町村が公表する内容については、実施要領を踏まえ、これまでの市町村頁と同様に、教科に関する調査及び質問調査における「具体的な数値による調査結果」、「調査結果の分析」、「今後の改善方策」の3点の記載をお願いしたいと考えています。

なお、市町村の状況に応じた公表となることから、公表の方法や資料の様式・枚数は指定しません。ただし、市町村が独自に結果公表を行う際に参考となる、フォーマットの例を提供します。

- 調査結果の分析や公表内容の検討、資料の作成など、市町村の状況に応じて、教育局が助言や補助などを行います。
- 教育上の配慮が必要と考えられる市町村（※）以外は、平均正答率及び平均IRTスコアの数値も公表することが望ましいと考えています。

（※）・小学校、中学校それぞれ1校：55市町村 中学校1校：39市町村、義務教育学校1校：7市町（計101市町村）
・対象となる児童生徒数が少ない市町村
（参考：道教委では児童生徒数が160人程度である檜山管内を公表）
・ただし、道内には児童生徒数が少なくても平均正答率の数値を公表している町もあり、最終的には地域の実情に応じて市町村が判断すべき。

- 同意が得られた市町村については、11月下旬を目途に公表を予定している道教委の報告書に、市町村が独自に結果公表を行うWebページの二次元コードを掲載します。

2 道教委による学校名を明らかにした公表について

- 都道府県教委が市町村教委の同意を得た上で学校名を明らかにした公表を行う際には、各学校の分析の結果や改善方策を合わせて示す必要がありますが、全道の学校数が約1,400校に上ること、児童生徒数が少なく教育上の配慮が必要な学校が多いことから、市町村教委や学校が判断することが望ましいと考えています。

3 報道への対応

- 報道機関に対し、平均正答率及び平均IRTスコアの数値を一覧にするなど、序列化や過度な競争につながる報道をしないよう要請します。

別添3

※令和7年度の基本方針と、リーダーチャートと帯グラフを活用し、教科に関する調査及び質問調査における「具体的な数値による調査結果」「調査結果の分析」「今後の改善策」を掲載する例

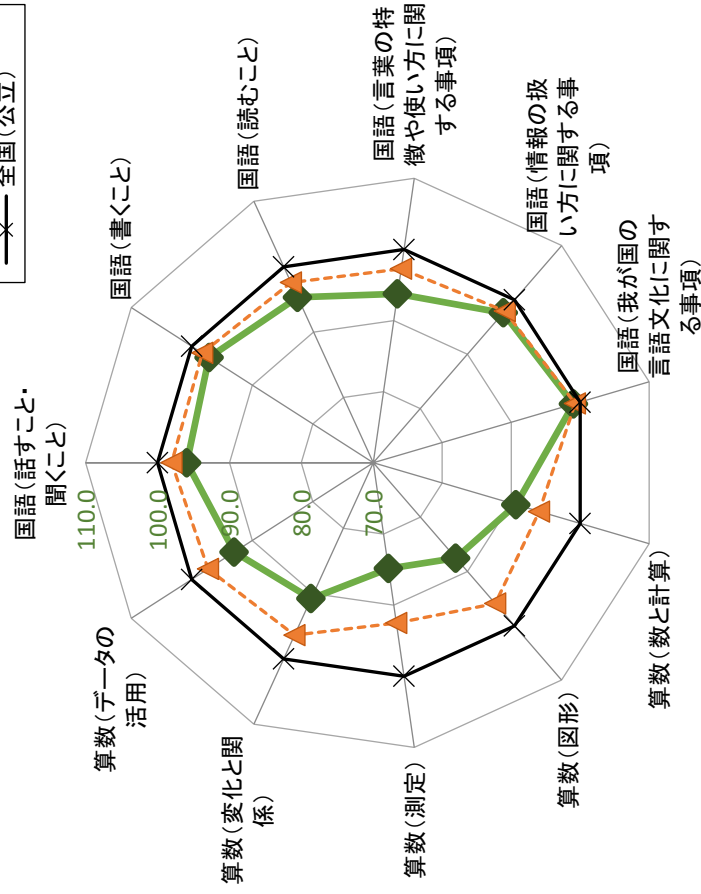
令和8年度全国学力・学習状況調査 ●●市内の状況及び今後の改善方策

○教科に関する調査の状況

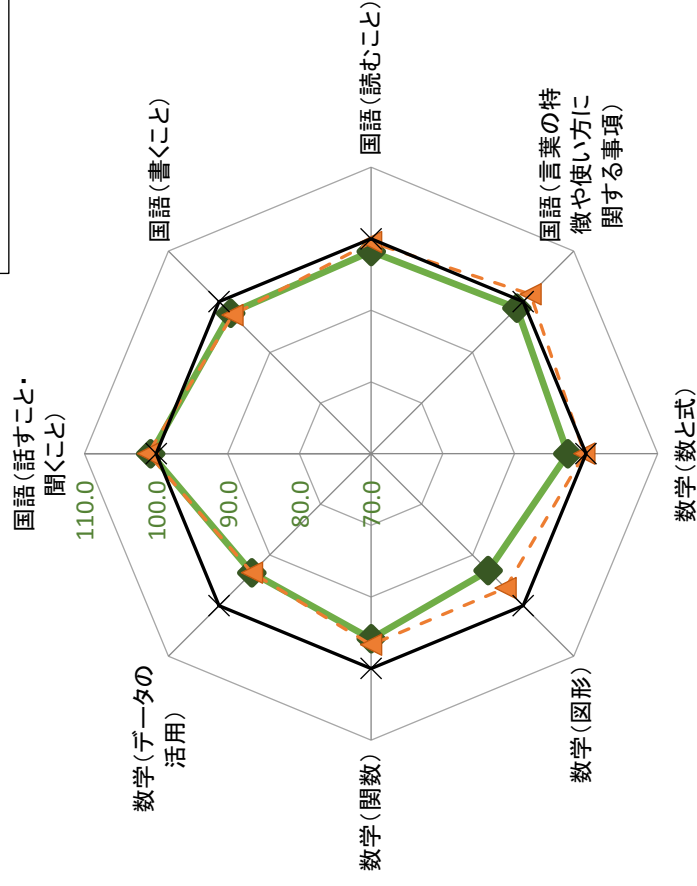
【レ-ダー-チャート】

- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をリーダーチャートで示したものの（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）
- ・中学校英語の結果は、IRTSコアで表されるため、リーダーチャートに表示していません

小学校



中学校



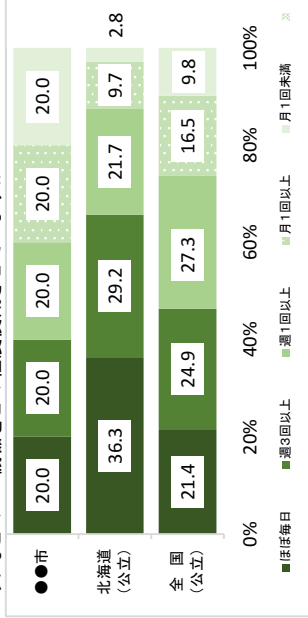
【平均正答率・平均IRTSコア】		※中学校英語は平均IRTSコア			
		小学校		中学校	
		国語	算数	国語	数学 英語
●●市		65	65	65	65 500
北海道(公立)		65.4	55.2	54.0	46.7 505
全国(公立)		66.8	58	54.3	48.3 503

○ 質問調査の状況

小学校

<学校質問>

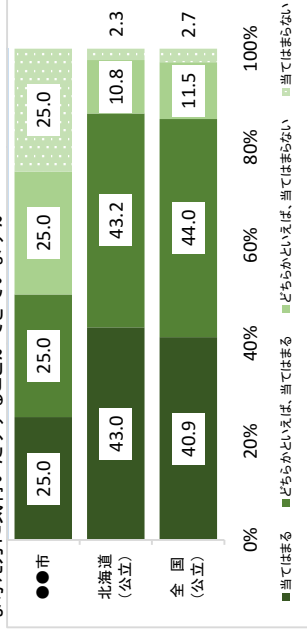
児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



中学校

<児童質問>

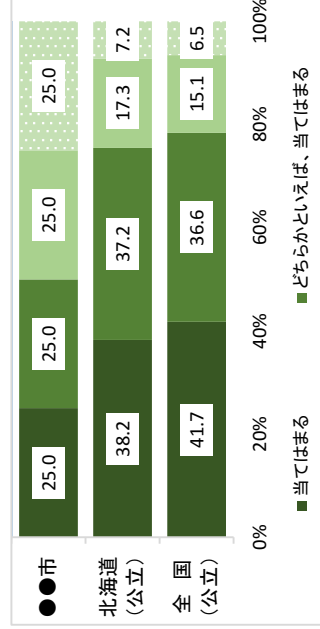
学級の友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



小学校

<児童生徒質問>

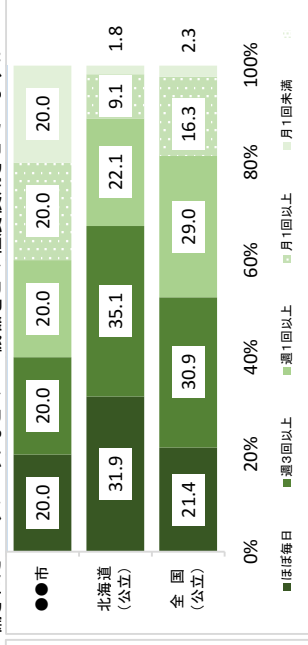
算数[数学]の授業の内容はよく分かりますか



中学校

<学校質問>

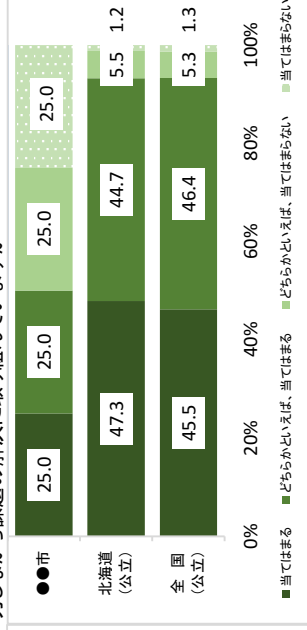
生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



中学校

<生徒質問>

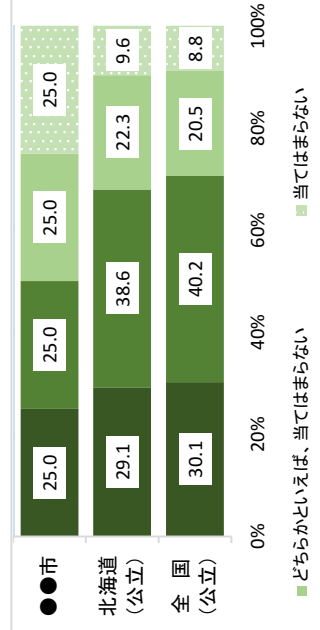
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



中学校

<児童生徒質問>

算数[数学]の授業の内容はよく分かりますか



○ 調査結果の分析

- 市内の小・中学校を対象にICTの活用や深い学びに関する研修会を継続的に実施したことにより、児童同士がやりとりする場面でICT機器をほぼ毎日使用した学校や、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりする児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

- 市内の小・中学校を対象に授業改善の取組を共有する研修会を実施したことにより、生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面でICT機器をほぼ毎日活用した学校や、友だちや周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

- 小学校算数及び中学校数学の平均正答率が全国及び全道を下回っている状況は、算数[数学]の授業の内容はよく分かると回答した児童生徒の割合が全国及び全道を下回っていることが、要因の一つとして考えられる。

○ 今後の改善方策

- 児童生徒の授業の理解度等に応じた指導方法の工夫改善を図ることによる児童生徒一人一人の資質・能力の確実な育成に関する研修会の実施
- ICT端末を活用した学習支援ソフトによる家庭学習の習慣化を図る取組の推進
- 小学校及び中学校における確かな学力の向上に向けた学習サポート教員や専門スタッフの配置促進